

# さらなる信頼関係の構築に向けて

OKIグループは2008年度、情報共有の迅速化と、より効率的な活動推進をめざし、従来のCSR関連部門の一部を統合するかたちで「CSR部」および「CSR部地球環境室」を新設しました。また、教育や取り組み状況のセルフチェックなどを通じ、CSR推進の基盤である「OKIグループ企業行動憲章」「OKIグループ行動規範」のグループ内への徹底を図っています。2009年度も引き続きグローバルなCSR推進体制を整備・強化するとともに、7つの重点領域について、下表に示すポイントを中心に取り組んでいきます。

環境活動においては、従来注力してきた地球温暖化防止と

製品含有化学物質管理の取り組みに加え、商品開発におけるグリーンITの取り組みについても社外の評価をいただくなど、一定の成果をあげてきました。今後はさらに環境関連法令・規制への適合性を強化するとともに、省エネルギー商品の開発などを通じて、低炭素社会の実現に貢献すべく取り組んでいきます。

OKIグループはこれらの活動を通じて、ステークホルダーの皆様から寄せられる期待とグループとして果たすべき役割の両面からCSR活動を捉えなおし、本業における貢献をさらに推進していきます。

## CSR各活動領域における2009年度の注力ポイント

CSR活動領域	2008年度の主な取り組み	2009年度注力ポイント
コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスク評価とモニタリングを中心としたマネジメントが定着</li> <li>● eラーニングやイントラネットを活用し、コンプライアンス教育ツールを拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスクマネジメントの仕組みの着実な維持と改善</li> <li>● 登録された各リスクに関する施策およびモニタリングの充実</li> </ul>
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お取引先の情報セキュリティセルフチェックを実施</li> <li>● 遠隔地・小規模拠点などの施策実施状況をモニタリング</li> <li>● モバイルパソコン利用者への教育を徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お取引先における施策定着度合いの「見える化」</li> <li>● 施策実施・定着状況のモニタリングを継続</li> </ul>
お客様満足の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽微な製品事故情報、部材使用上の注意情報などをグループ内に積極展開</li> <li>● 製品安全や安全関連法令、統計・信頼性などの教育を拡充</li> <li>● 障がい者の在宅就労をサポートするシステムを開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質教育の見直しを継続（中堅技術者教育拡充に注力）</li> <li>● ユニバーサルデザイン技術の応用拡大</li> </ul>
株主・投資家への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営説明会を適宜開催し、機関投資家へ情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機関投資家向けの事業説明会開催などによる、情報の積極的発信</li> </ul>
社員の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバル教育の拡充</li> <li>● eラーニングやSNSの活用による次世代育成支援の環境づくり</li> <li>● 育児勤務制度の見直し</li> <li>● 心身の健康づくりのためのイベント・研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材の確保と育成</li> <li>● 次世代育成支援の定着</li> <li>● ワークライフバランスの推進</li> <li>● 心身の健康づくり支援</li> </ul>
環境への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● OKIグループの省エネルギー目標を達成</li> <li>● REACH規則適合を目的とした推進体制、運用基準などの構築</li> <li>● 環境製品の拡販、広域認定制度の活用</li> <li>● ISO14001統合認証範囲の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球温暖化防止策の拡充</li> <li>● 省エネルギー商品の創出</li> <li>● 製品含有化学物質管理体制の定着、改善</li> <li>● 環境マネジメントの改善</li> <li>● 環境コンプライアンスの強化</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 古着支援活動を実施</li> <li>● アジアの植林、中東の人材育成など、海外における地域貢献活動を強化</li> <li>● 新たな森林ボランティア活動を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「OKI愛の100円募金」の安定運用に向けた検討</li> <li>● 国内外での地域貢献活動の強化</li> </ul>

## 編集後記

初の発行となる「社会・環境レポート」をお届けいたします。OKIグループのCSRの考え方や取り組みの全体像をより効率よくお伝えすべく、これまで個別にご報告してきた社会面と環境面の情報を一冊にまとめました。統合にあたっては巻末に資料編を設けるなど、従来の両報告書における情報の質や網羅性を損なわないよう努めています。

特集ページでは昨年の「社会的責任レポート」に続き、ステークホルダーの皆様や社会の関心が高く、かつOKIグループにとって重要な課題を5つ抽出し、その取り組みをご紹介します。これはグループの本業におけるCSRのあり方を社内で再確認するプロセスとしても有効であり、今後とも継続していきたいと考

えます。また、7つの重点活動領域については、報告年度の注力ポイントとその達成状況を記載することにより、レポートを作成する過程で社内の関連部門が各活動の進展状況と課題を共有し、次年度の活動に活かしています。

本レポートに対するステークホルダーの皆様からのご意見をふまえ、さらなる活動の充実、よりわかりやすい情報開示に努めていく所存です。何卒、皆様の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月  
沖電気工業株式会社  
CSR部